使用製品

歯 - インレー - アンレー - パーシャルクラウン - ゴールド - 保持形態のない形成 - Variolink Esthetic

☐ **バリオリンク エステティック**
審美性を重視した、光重合型とデュアルキュア型の2種類を備えた接着性レジンセメントです。

☐ **プロキシット F フリー**
フッ化物無配合のクリーニングペーストです。

☐ **イボクリーン**
口腔内試適後、修復物の接着面を効果的にクリーニングするクリーニング材です。

☐ **モノボンドプラス**
どの修復物表面にも使用できるユニバーサルタイプのプライマーです。

☐ **オプトラスティック**
接着性チップを持つ補助インスツルメント。修復物の保持に使用します。

☐ **オプトラダム**
治療部位を防湿するための3Dラバーダムです。

☐ **リキッドストリップ**
硬化時、酸素と触れることで形成されるコンポジットレジンの未重合層を抑制するためのグリセリンゲルです。

☐ **オプトラポル**
コンポジットレジン材料を仕上げ研磨する、1ステップの研磨バーです。

☐ **Fluor Protector（日本未導入）**
Fluor Protector（日本未導入） is a protective fluoride varnish for desensitization and caries prophylaxis.

フローチャート Variolink Esthetic

歯 - インレー - アンレー - パーシャルクラウン - ゴールド - 保持形態のない形成 - Variolink Esthetic

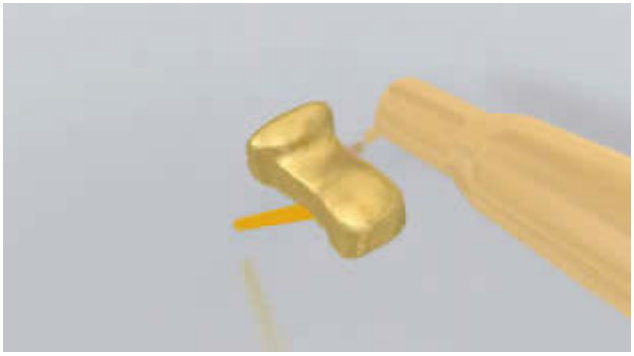
1 テンポラリーの除去

仮封材を除去します。必要に応じて、支台歯に残存した仮封材をポリッシングブラシとフッ化物およびオイルフリーのクリーニングペーストを使用して除去します(**プロキシット F フリー等**)。その後、支台歯を水分およびオイルフリーのエアーで乾燥します。

2 修復物の試適

最終修復物を試適します。この時、修復物のシェード、適合、咬合状態を確認します。

3 修復物の前処理



修復物内面をブラスティングします（修復材料メーカーの指示に従ってください）。

モノボンドプラスを、ブラシあるいはマイクロブラシで塗布し、60秒反応させます。その後、強圧のエアーで乾燥します。

4 支台歯の防湿と清掃

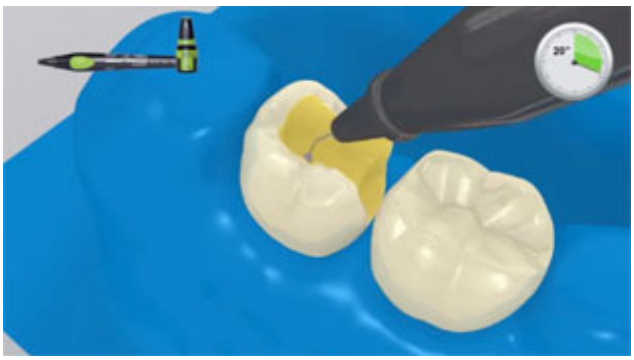
治療部位の防湿をオプトラダムで行うか、防湿用パッドや排唾管を使用して確実に行います。

支台歯をポリッシングブラシと、フッ素およびオイルフリーのクリーニングペーストでクリーニングし (e.g. **プロキシット F フリー**)、水洗します。その後、水分およびオイルフリーのエアーで乾燥します。この時、乾燥しすぎないように注意してください。

5 支台歯の前処理とボンディング材の塗布

オプション: リン酸エッチング材 (**トータルエッチ**等)をエナメル質に塗布し、15～30秒反応させます。

その後、少なくとも5秒間、十分に水洗し、エッチングされたエナメル質が白く確認できるまで強いエアーで乾燥します。

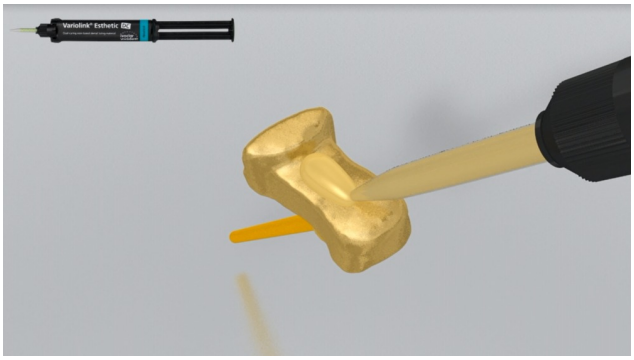


アドヒース ユニバーサルを、エナメル質から塗布を開始し、接着歯面を完全に被覆します。この時、少なくとも20秒間スクラブします。

アドヒース ユニバーサルを塗布後、 水分およびオイルフリーのエアーで光沢のある均一な層になるまで拡散し、液が部分的に溜まるのを防ぎます。

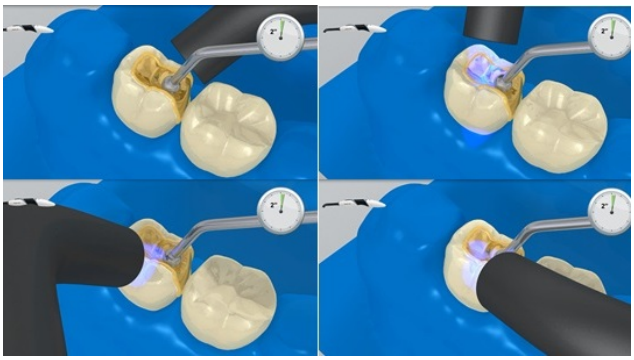
光重合タイプのアドヒース ユニバーサルは、少なくとも500 mW/cm2の光量で10秒間光照射します（**ブルーフェーズ style**等）。

6 バリオリンク エステティックによる修復物装着



バリオリンク エステティック DCをオートミックスシリンジから押し出し、修復物の接着面に必要量を直接塗布します。

修復物を装着し、硬化まで軽い一定の圧力で圧接します。



余剰セメントを最大10 mmの距離から光照射器（**ブルーフェーズ style** 等）で2秒間ずつ、4方向から（近心舌側、遠心舌側、遠心頬側、近心頬側）光照射します。

ゲル状に半硬化した余剰セメントはスケーラー等で簡単に除去できます。

他のコンポジットレジン同様に、**バリオリンク エステティック** は、酸素による未重合層が生じます。この問題を避けるため、修復物のマージン部分を余剰セメント除去後すぐに、グリセリンゲル/エアバリア材（**リキッドストリップ** 等)で覆います。

その後、マージンに沿って、多方向から20秒ずつ（約1,100 mW/cm2）光照射します。 オペーク色、つまり光が透過しにくい材料の場合は、化学重合による硬化をお勧めします。

リキッドストリップを水洗し、ラバーダムを除去します。

7 仕上げ

隣接面は、研磨用ストリップスを使用し、仕上げ研磨を行います。咬頭嵌合位および機能運動時の咬合関係を確認し、必要があれば調整します。マージン部は、研磨バーもしくはディスクを用い研磨します (**オプトラポル**等)。

8 フッ化物塗布

A thin film of **Fluor Protector（日本未導入）** is applied with a Vivabrush or brush and distributed evenly. The varnish is dried with an air syringe.